

HP Server Automation

Ultimate Edition

ソフトウェアバージョン: 10.10

SA レポートガイド

ドキュメントリリース日: 2014年6月30日 (英語版)

ソフトウェアリリース日: 2014年6月30日 (英語版)



ご注意

保証

HP製品、またはサービスの保証は、当該製品、およびサービスに付随する明示的な保証文によってのみ規定されるものとし、ここでの記載は、追加保証を提供するものではありません。ここに含まれる技術的、編集上の誤り、または欠如について、HPはいかなる責任も負いません。

ここに記載する情報は、予告なしに変更されることがあります。

権利の制限

機密性のあるコンピューターソフトウェアです。これらを所有、使用、または複製するには、HPからの有効な使用許諾が必要です。商用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアに関する文書類、および商用アイテムの技術データは、FAR12.211および12.212の規定に従い、ベンダーの標準商用ライセンスに基づいて米国政府に使用許諾が付与されます。

著作権について

© Copyright 2001-2014 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

商標について

Adobe®は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の登録商標です。

Intel®およびItanium®は、Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft®、Windows®、およびWindows® XPIは、Microsoft Corporationの米国における登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporationおよびその関連会社の登録商標です。

UNIX®は、The Open Groupの登録商標です。

サポート

次のHPソフトウェアサポートオンラインのWebサイトを参照してください。

<http://support.openview.hp.com>

このサイトでは、HPのお客様窓口のほか、HPソフトウェアが提供する製品、サービス、およびサポートに関する詳細情報をご覧いただけます。

HPソフトウェアオンラインではセルフソルブ機能を提供しています。お客様のビジネスを管理するのに必要な対話型の技術サポートツールに、素早く効率的にアクセスできます。HPソフトウェアサポートのWebサイトでは、次のようなことができます。

- 関心のあるナレッジドキュメントの検索
- サポートケースの登録とエンハンスメント要求のトラッキング
- ソフトウェアパッチのダウンロード
- サポート契約の管理
- HPサポート窓口の検索
- 利用可能なサービスに関する情報の閲覧
- 他のソフトウェアカスタマーとの意見交換
- ソフトウェアトレーニングの検索と登録

一部のサポートを除き、サポートのご利用には、HP Passportユーザーとしてご登録の上、サインインしていただく必要があります。また、多くのサポートのご利用には、サポート契約が必要です。HP Passport IDを登録するには、次のWebサイトにアクセスしてください。

<http://h20229.www2.hp.com/passport-registration.html>

アクセスレベルの詳細については、次のWebサイトをご覧ください。

http://support.openview.hp.com/access_level.jsp

サポートマトリクス

サポートおよび互換性情報については、関連する製品リリースのサポートマトリクスを参照してください。サポートマトリクスと製品マニュアルは、次のHPソフトウェアサポートオンラインのWebサイトで参照できます。

http://h20230.www2.hp.com/sc/support_matrices.jsp

また、本リリースの『HP Server Automation Support and Compatibility Matrix』は、次のHPソフトウェアサポートオンラインの製品マニュアルWebサイトからダウンロードできます。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

ドキュメントの更新情報

このリリースのServer Automation製品の最新のドキュメントは、すべて次のSA Documentation Libraryから入手できます。

http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM00417675/binary/SA_10_docLibrary.html

SA Documentation Library では、このリリースに関連するガイドライン、リリースノート、サポートマトリクス、およびホワイトペーパーにアクセスできます。また、フルドキュメントセットを一括してダウンロードすることもできます。SA Documentation Libraryは、リリースごとに更新されます。また、リリースノートが更新されたときや、新しいホワイトペーパーが発行されたときにも更新されます。

情報リソースを見つける方法

Server Automationの情報リソースは、次のいずれの方法でもアクセスできます。

方法1: 新しいSA Documentation Libraryから、最新のドキュメントにタイトルとバージョンを指定してアクセスします。

方法2: [All Manuals Download] からローカルディレクトリにフルドキュメントセットを保存します。

方法3: サポートされるリリースのHP製品ドキュメントをHPソフトウェアドキュメントポータルで検索します。

各ドキュメントにアクセスするには、次の手順を実行します。

- 1 SA 10.x Documentation Libraryにアクセスします。

http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM00417675/binary/SA_10_docLibrary.html

- 2 HP Passportの資格情報を使ってログインします。

- 3 ドキュメントのタイトルとバージョンを指定して、[go] をクリックします。

ローカルディレクトリ内の完全なドキュメントセットを使用するには、次の手順を実行します。

- 1 フルドキュメントセットをローカルディレクトリにダウンロードするには、次の手順を実行します。

- a SA Documentation Libraryにアクセスします。

http://support.openview.hp.com/selfsolve/document/KM00417675/binary/SA_10_docLibrary.html

- b HP Passportの資格情報を使ってログインします。
 - c SA 10.1バージョンの [All Manuals Download] タイトルを探します。
 - d **[go]** リンクをクリックして、ローカルディレクトリにZIPファイルをダウンロードします。
 - e ファイルを解凍します。
- 2 ローカルディレクトリ内のドキュメントを探すには、ドキュメントカタログ (docCatalog.html) を使用します。ローカルディレクトリにダウンロードしたドキュメントの索引ポータルが表示されます。
 - 3 ドキュメントセット内のすべてのドキュメントを対象としてキーワードを検索するには、次の手順を実行します。
 - a ローカルディレクトリ内の任意のPDFドキュメントを開きます。
 - b **[編集]>[高度な検索]** を選択します (またはShift+Ctrl+Fキー)。
 - c [以下の場所にあるすべてのPDF文書] オプションを選択し、ローカルディレクトリを指定します。
 - d キーワードを入力し、**[検索]** をクリックします。

HPソフトウェアドキュメントポータルで追加ドキュメントを探すには、次の手順を実行します。

HPソフトウェアドキュメントポータルにアクセスします。

<http://h20230.www2.hp.com/selfsolve/manuals>

このサイトを利用するには、HP Passportへの登録とサインインが必要です。HP Passport IDの登録は、HP Passportのサインインページの **[New users - please register]** リンクをクリックしてください。

適切な製品サポートサービスをお申し込みいただいたお客様は、更新版または最新版をご入手いただけます。詳細は、HPの営業担当にお問い合わせください。改訂状況については、「ドキュメントの更新情報」を参照してください。

製品エディション

Server Automationには、次の2つの製品エディションがあります。

- Server Automation (SA) は、Server AutomationのUltimate Editionです。Server Automationについては、『SAリリースノート』および『SAユーザーガイド: Server Automation』を参照してください。
- Server Automation Virtual Appliance (SAVA) は、Server AutomationのPremium Editionです。SAVAの機能については、『SAVA Release Notes』および『SAVAクイックガイド』を参照してください。

目次

第1章 Server Automationレポートの概要	7
SAクライアントに組み込まれたSAクライアントレポート	7
SA用HP Automation Insightレポート	8
第2章 SAクライアントレポート	9
レポートの各種機能	9
HP Server Automationクライアントレポート	10
レポートのユーザーアクセス権	11
レポート機能の起動	11
レポート表示	11
レポートの実行と変更	13
レポートの実行	13
レポートパラメーターの変更	14
レポート結果	14
グラフィックレポートの表示	15
リストレポートの表示	16
レポートのエクスポート	16
レポートの印刷	17
レポート結果の制限	17

第1章 Server Automationレポートの概要

本書では、Server Automation (SA) レポートの概要を説明します。SAレポートは、SAクライアントで利用できるSAクライアントレポートと、Automation Insight (AI) レポートという2つの形で提供されます。

詳細については、SAクライアントに組み込まれたSA Clientレポートに関する章を参照してください。

レポートの表示、起動、スケジュール設定、およびカスタムレポートの作成の詳細については、『HP Automation Insight User Guide』の「Reports」の節を参照してください。

HP Automation Insightのレポートとユニバースに関する特定情報の詳細については、HPLN (<http://www.hp.com/go/livenetwork>) からダウンロード可能な各ソリューションパックで提供される、ソリューションパックのユーザーガイドを参照してください。

重要: 適切な製品を指定しない限り、LNCは内容のリスト表示、ダウンロード、プレビュー、インポートを実行しません! 製品を有効化する手順については、HP Live Networkの『Live Network connector Users Guide』を参照してください。

- ご使用のSAバージョンに適したレポートストリームと、実行したいレポートの登録があること。レポートストリームをダウンロードするには:
 - HP Live Networkにアクセスし、Live Network connectorのリンクをクリックします。
 - HP Live Networkの使用手順と正しいレポートストリームの情報に関する『LNC Users guide』をダウンロードします。
 - 特定の製品について LNC の構成が完了すると、以下を経由して使用できるストリームの一覧も参照可能です。

`live-network-connector list-streams`

個別のストリームに関する追加情報は、“describe”コマンドを使用して入手できます。この情報には、特定のストリーム/コンテンツに関する追加情報を見つけるための詳しいテキスト説明とURLの記載があります。

URL:

- HP Live NetworkのURL = <http://www.hp.com/go/livenetwork> (英語サイト)
- HPドキュメントポータルURL = <http://support.openview.hp.com/selfsolve/manuals>



これらのレポートへのアクセスと実行に関する追加情報については、各Automation Insightツールのオンラインヘルプを参照してください。

SAクライアントに組み込まれたSAクライアントレポート

SAクライアントレポートは、環境内の管理対象サーバー、仮想サーバー、ネットワークデバイス、ユーザーのアクセス権とセキュリティ権限に関する情報をリアルタイムで提供します。これらはパラメーター化されたアクションナブルレポートで、オブジェクトに対してレポート内でポリシーや監査などの適切なアクションを実行できます。また、組織で使用しやすいように(.htmlファイルや.pdfファイル、.xlsファイルとして)、ローカルファイルシステムにエクスポートすることもできます。

詳細については第2章「SAクライアントレポート」を参照してください。

SA用HP Automation Insightレポート

HP 製品のひとつである HP Automation Insight (AI) は、HP Vertica の分析データベースのテクノロジーを活用して、ETL ツール、次元データモデル、レポート、ダッシュボード、分析システムの完全なセットと、HP の自動化ツールで使用するコンテンツを提供します。

レポートの表示、起動、スケジュール設定、およびカスタムレポートの作成の詳細については、『HP Automation Insight User Guide』を参照してください。

HP Automation Insight のレポートとユニバースに関する特定情報の詳細については、HPLN からダウンロード可能な各ソリューションパックで提供される、ソリューションパックのユーザーガイドを参照してください。

第2章 SAクライアントレポート

SAクライアントレポートでは、環境内の管理対象サーバー、仮想サーバー、ネットワークデバイス、ユーザーのアクセス権とセキュリティ権限に関する包括的な情報がリアルタイムで提供されます。これらのパラメーター化されたレポートはグラフと表の形式で提示され、アクションナブルです。つまり、オブジェクトに対してレポート内でポリシーや監査などの適切なアクションを実行できます。また、組織で使用しやすいように(.htmlファイルや.pdfファイル、.xlsファイルとして)、ローカルファイルシステムにエクスポートすることもできます。

この項には、SAクライアントレポートのタイプ、レポートパラメーターの変更方法、レポートの実行方法、レポート内でのアクション実行方法などに関する情報が含まれます。

SAクライアントの追加レポート機能は、HP Automation Insight製品で使用できます。

レポートの表示、起動、スケジュール設定、およびカスタムレポートの作成の詳細については、『HP Automation Insight User Guide』を参照してください。

HP Automation Insight レポートおよび Universe の個別の情報については、HPLN でダウンロード可能な各ソリューションパックに付属のソリューションパックユーザーガイドを参照してください。

この項では、次の事項を説明します。

- [レポートの各種機能](#)
- [HP Server Automationクライアントレポート](#)
- [レポートのユーザーアクセス権](#)
- [レポート機能の起動](#)
- [レポート表示](#)
- [レポートの実行](#)
- [レポート結果](#)

レポートの各種機能

SAクライアントレポートには、エンタープライズの正常性評価を実行するための、次の機能が用意されています。

- オブジェクトに対してレポート内で適切なアクションを実行できるアクションナブルレポート。たとえば、コンプライアンスレポートのリストビューでは、サーバーを選択してリモートターミナルまたはサーバーエクスプローラーを開いて参照したり、監査を実行したり、スナップショットを作成したり、パッケージを作成したりすることができます。
- 全レポート対応のSAクライアントダッシュボードで単一のエントリーポイント。
- ユーザーのアクセス権で管理され、データがセキュリティ保護されたレポート。読み取りアクセス権をもつすべてのオブジェクトを表示可能です。書き込みアクセス権をもつオブジェクトに対するアクションを実行可能です。
- .html、.pdf、.xls形式にエクスポート可能なレポート。組織で使用するために、ローカルファイルシステムにレポートをエクスポートできます。

HP Server Automationクライアントレポート

次のテーブルは、レポートフォルダーごとのSAクライアントレポートの一覧です。

表1 SAクライアントレポート

レポートフォルダー	レポートタイトル
サーバーレポート	<ul style="list-style-type: none">• カスタマーごとのサーバー• ファシリティごとのサーバー• メーカーごとのサーバー• モデルごとのサーバー• オペレーティングシステムごとのサーバー• 使用状況ごとのサーバー
仮想化レポート	<ul style="list-style-type: none">• Solaris 10<ul style="list-style-type: none">— ハイパーバイザーごとの仮想サーバー (Zonesのみ)— ハイパーバイザーごとのリソース割り当て (Zonesのみ)
ユーザーおよびセキュリティレポート	<ul style="list-style-type: none">• クライアントおよび機能のアクセス権• カスタマー/ファシリティアクセス権およびデバイスグループアクセス権のオーバーライド• ユーザーグループのメンバーシップ• ユーザーログイン• 管理者アクション• ユーザーと承認、ユーザーグループ別• ユーザーと承認、個別ユーザーグループ別• 管理者カスタマーグループ• サーバーアクセス権、ユーザー別• サーバーアクセス権、サーバー別• OGFSアクセス権、ユーザー別• OGFSアクセス権、サーバー別
ネットワークレポート	<ul style="list-style-type: none">• ネットワークデバイスごとの接続• サーバーごとの接続• デュプレックスコンプライアンス (すべてのサーバー)• カスタマーごとのデュプレックスコンプライアンス• ファシリティごとのデュプレックスコンプライアンス <p>『SA統合ガイド』の「ネットワークレポート」も参照してください。</p>

SAクライアントの追加レポート機能は、HP Automation Insight (AI) 製品で使用できます。レポートの表示、起動、スケジュール設定、およびカスタムレポートの作成の詳細については、『HP Automation Insight User Guide』を参照してください。

HP Automation Insight レポートおよび Universe の個別の情報については、HPLN でダウンロード可能な各ソリューションパックに付属のソリューションパックユーザーガイドを参照してください。

レポートのユーザーアクセス権

各レポートは、ユーザーのアクセス権で管理されます。読み取りアクセス権をもつすべてのオブジェクトを表示できます。また、書き込みアクセス権をもつオブジェクトに対するアクションを実行できます。

ネットワークレポートを表示または実行するには、SA/NA統合の構成が必要です。『SA統合ガイド』を参照してください。

ユーザーおよびセキュリティレポートを表示または実行するには、システム管理者のアクセス権が必要です。

レポート機能の起動

レポート機能を起動するには、次のいずれかの手順を実行します。

- **[表示]** メニューから、**[レポート]**>**[ダッシュボード]** を選択します。
- **[表示]** メニューから、**[レポート]**>**[レポート]** を選択します。
- ナビゲーションペインで**[レポート]** を選択します。

レポート表示

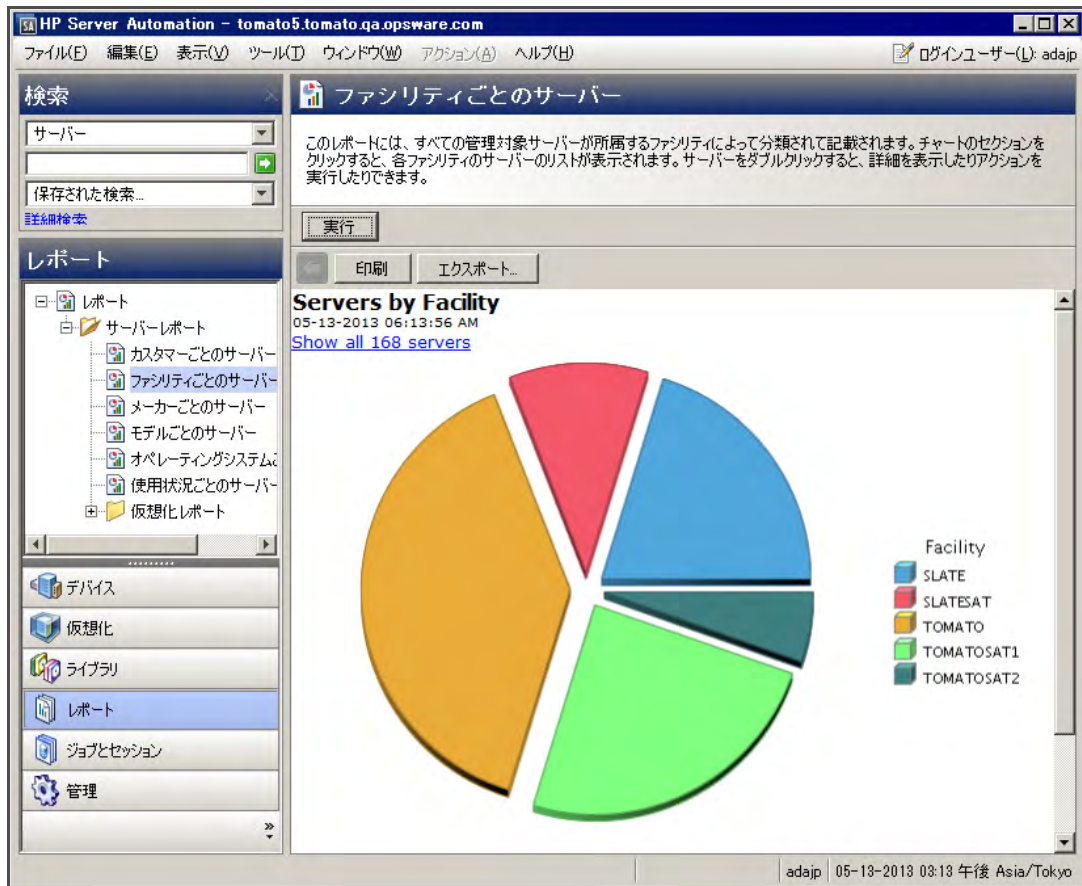
SAクライアントのレポートウィンドウは、検索ペイン、レポートパラメーター、レポートフォルダー、その他フィルタリングツールで構成されます。

この項では、次の事項を説明します。

- [検索ペイン](#)
- [レポートフォルダー](#)

- レポートパラメーター

図1 レポート機能の表示



検索ペイン

すべてのタブビューには検索ペインがあり、コンポーネントカテゴリを選択し、検索テキストフィールドにキーワードを入力して、SAクライアントの情報を検索できます。追加のフィルター条件を指定するオプションとともに、内容ペインの構成可能なリストに結果が表示されます。詳細については、『SAユーザーガイド: Server Automation』を参照してください。

レポートフォルダー

規制基準やITのベストプラクティスに従い、各レポートはフォルダーに整理されています。

- **サーバーレポート:** このフォルダーには、カスタマー、ファシリティ、メーカー、モデル、オペレーティングシステム、サーバー使用状況ごとのサーバーに関するレポートが含まれます。
- **仮想化レポート:** このサブフォルダーには、テクノロジーごと、またハイパーバイザーごとの仮想サーバーとリソース割り当てに関するレポートが含まれます。
- **ネットワークレポート:** このフォルダーには、ネットワークデバイスおよびサーバーの接続およびデュプレックスのコンプライアンスに関するレポートが含まれます。このフォルダーを参照するには、NAのインストールが必要です。
- **ユーザーおよびセキュリティレポート:** このフォルダーには、クライアントおよび機能のアクセス権、カスタマー/ファシリティ/デバイスグループのアクセス権、ユーザーグループのメンバーシップに関するレポートが含まれます。このフォルダーを参照するには、システム管理者のアクセス権が必要です。

次の図は、ナビゲーションペインに表示された[レポート]フォルダーと、各フォルダーに含まれるレポートを示しています。

図2 レポートフォルダー



レポートパラメーター

多くのレポートでは、実行するために入力パラメーターが必要です。こうしたレポートはデフォルトのパラメーター値で実行できるほか、パラメーター値の変更も可能です。特定のサーバーやカスタマー、ハードウェアモデルを含む、あるいは含まないレポートを実行したいときは、レポートパラメーターで条件を指定する必要があります。[レポートの実行](#) (13ページ) を参照してください。

レポートの実行と変更

この項では、次の事項を説明します。

- [レポートの実行](#)
- [レポートパラメーターの変更](#)

レポートの実行

レポートを実行するには、次の手順を実行します。

- 1 ナビゲーションペインで[レポート]を選択します。

- 2 [レポート]フォルダーを展開し、次に[サーバーレポート]と[仮想化レポート]を展開します。
- 3 フォルダーに表示された仮想化レポートの1つを選択します。
- 4 [コンテンツ]ペインにレポートパラメーターが存在しない場合、[実行]をクリックします。
- 5 [コンテンツ]ペインにレポートパラメーターが存在する場合、デフォルトパラメーターを使用またはパラメーターを変更します。
 - デフォルトのレポートパラメーターを使用するには、[実行]をクリックしてレポートを実行します。レポート結果は、内容ペインに表示されます。[レポート結果](#) (14ページ)を参照してください。
 - レポートパラメーターを変更するには、[レポートパラメーターの変更](#) (14ページ)を参照してください。

レポートパラメーターの変更

デフォルトパラメーターを変更して、特定のサーバーやカスタマー、ハードウェアモデルを含むレポートを実行できます。

[デフォルトパラメーターを変更するには、次の手順を実行します。](#)

- 1 (サーバー、カスタマー、モデルなどの)ドロップダウンリストで、[次の値を含む]、[次の値に等しい]、[次の値で始まる]、[次の値で終わる]を選択します。
- 2 (オプション)省略記号ボタンを選択して、[値の選択]ウィンドウを開きます。
- 3 [値の選択]ウィンドウで[利用可能]または[選択済み]ペインの値を選択し、双方向ボタンを使って検索条件に値を含めたり、条件から除外したりします。
- 4 [OK]をクリックして変更内容を保存します。
- 5 [実行]をクリックしてレポートを実行します。レポート結果は、内容ペインに表示されます。[レポート結果](#) (14ページ)を参照してください。

▶ データが見つからずレポートを実行できない場合、"No records to display!" エラーが表示されます。詳細については、[レポート結果の制限](#) (17ページ)も参照してください。

レポート結果

レポート結果はグラフィックまたはリストビューに最初に表示されます。グラフィックレポートはこのレポートに使用できるデータの概要を示すもので、円グラフまたは棒グラフで表示されます。グラフのいずれかの項目や棒をクリックして、詳細をドリルダウンできます。たとえば、レポートに表示される個別のサーバーについてドリルダウンし、サーバーの詳細情報を入手できます。

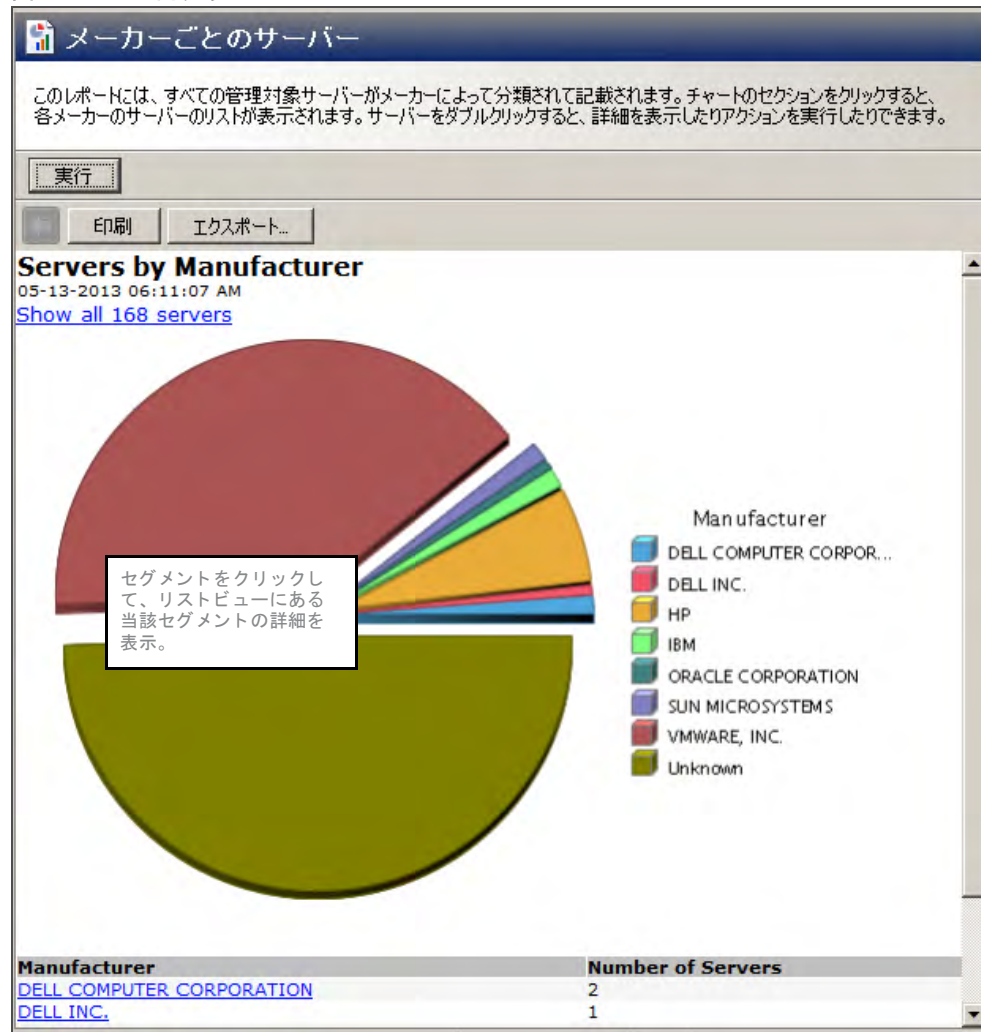
この項では、次の事項を説明します。

- [グラフィックレポートの表示](#)
- [リストレポートの表示](#)
- [レポートのエクスポート](#)
- [レポートの印刷](#)
- [レポート結果の制限](#)

グラフィックレポートの表示

グラフィックレポートは円グラフで表示されます。

図3 円グラフ



グラフの項目をクリックして詳細をドリルダウンしたり、アクションを実行したりします。また、「Show all <台数> servers」リンクをクリックして、サーバーの一覧を表示できます。

リストレポートの表示

リストレポートは、情報を表形式で表示したものです。サーバー、監査、ポリシーといったリストの行をダブルクリックして詳細を表示したり、アクションを実行したりします。図4の例を参照してください。

図4 リストレポート

User Group	# of Assigned Users	# of Server-Level Features	# of System-Level Features	# of OGSB Permissions
Arnold	5	68	105	41
CALIN	3	61	118	73
Command Line Administrators	4	2	20	0
Command-line Group	0	0	0	0
Compliance Auditors	5	23	8	0
Compliance Enforcers	5	27	8	0
Compliance Policy Setters	6	3	18	0
Diamond	1	61	103	0
Diana	2	61	104	0
Hypervisor Managers	5	6	9	0
Opware System Administrators	10	4	27	0
Patch Deployers	5	15	6	0
Patch Policy Setters	5	5	21	0
Satya Group	4	61	104	41
Server Storage Managers	4	4	9	0
Software Deployers	5	14	4	0
Software Policy Setters	5	5	15	0
Storage Fabric	2	1	0	0

レポートのエクスポート

ローカルファイルシステムにレポートをエクスポートして他のアプリケーションで使用したり、電子メールに添付して配布したりできます。レポートのタイプにより、使用できるエクスポートファイルの形式が異なります。

- グラフィックレポート (円グラフや棒グラフ) は、.htmlまたは.pdf形式でエクスポート可能。
- リストレポートは、.html、.pdf、または.xls形式でエクスポート可能。

▶ SAクライアントにレポートをエクスポートする場合、エクスポートしたレポートにマークされる時刻はレポートの作成時刻ではなく、レポートのエクスポート時刻になります。

レポートをエクスポートするには:

- レポートで[エクスポート]をクリックし、[保存]ウィンドウを開きます。
- フィールドの[保存]で、ファイルの保存先を入力するか、ドロップダウンリストから選択します。
- ファイル名を入力します。
- ファイルタイプを選択します。
- [保存]をクリックします。

レポートの印刷

レポートを印刷するには:

- 1 レポートで[印刷]をクリックし、[印刷]ウィンドウを開きます。
- 2 デフォルトの印刷オプションを使うか、オプションを変更し、[OK]をクリックします。

レポート結果の制限

次のレポートは、結果表示できるアイテムが2000件に限られます。

- サーバーアクセス権、サーバー別
- サーバーアクセス権、ユーザー別
- OGFSアクセス権、サーバー別
- OGFSアクセス権、ユーザー別

これらのレポート結果が2000件に達した場合、レポートは停止します。これは、指定した検索パラメーターによっては結果が何千件にもものぼることがあり、SAコアのパフォーマンスを低下させる恐れがあるためです。

たとえば[サーバーレポート、ユーザー別]は、検索パラメーターでユーザー 10人、サーバー 200台を指定した場合は問題なく実行されますが、ユーザー 10人、サーバー 201台を指定した場合には実行されません。

この問題を避けるには、検索パラメーターを変更して結果の件数を少なくするか、レポートクエリをより絞り込んだ検索に分割して、結果として必要なだけ絞り込んだレポートを複数回実行します。

